

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム つきとほし

作成日: 平成28年 12月 28日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	入居者の介護量不足によりなかなか外出が出来ずにいる。	一度に入居者全員を散歩にお連れする事は難しいが、一人ずつ別の日にお連れする。	昼から休憩時(入浴予定以外の人)日に2~3人、散歩又は外の空気を吸うようにする。	6ヶ月
2	25	ヒヤリハットをノートに記入する様にしていたが、考察・再発防止策の記載が記入されていない。	職員が記入しやすい方法を考え、たくさんのヒヤリハットの提出と、改善策や再発防止への取り組みが出来る様にしたい。	事故報告書とヒヤリハット報告書を一枚の様式で記入出来る様にした。 職員全員が少しの気付き、ヒヤッとした事を記入する様に周知した。	1ヶ月
3	6	安全対策の為にどうしても拘束の必要がある時に家族には口頭で報告し了解を得ていたが書面での取り交わしがなかった。	拘束が必要となった場合は早急に報告し、書面での取り交わしを行う。なぜ拘束が必要かの説明をしっかりとする。	拘束をしない取組みを考えながら、どうしても名場合は最小限の時間にする。拘束解除が出来る介護方法はないか職員全員で検討する。家族には同意書と説明書を渡し、了承して下さった場合には署名押印を頂く。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。